

アリババと40にんのとうぞく

むかしむかし、ペルシャのくににアリババというおとこがいました。アリババは、まいにち
もりできをきっておかねをかせいでいました。あるひ、もりでしごとをしていると、おおき
ないわのむこうからとうぞくたちのこえがきこえてきました。

「ひらけごま！」

とうぞくがじゅもんをいうと、いわがバカッとあきました。なかにはたくさんのきんかやほ
うせきがかがやいているではありませんか！アリババは、そこからこっそりきんかをもちか
えり、ゆうふくなせいかつをおくるようになりました。

ところが、アリババのおにいさんのカシムがたからのひみつをしり、じぶんもほしいといい
ました。アリババはしかたなくひみつをおしえてあげましたが、カシムはじゅもんをわすれ
てしまい、どうくつからでられなくなりました。うんわるくとうぞくにみつかりころされて
しまったのです。

アリババはかなしんで、カシムのからだをもちかえり、びょうきでしんだことにしました。

しかし、とうぞくたちはすぐにみつけだし、アリババをころそうとあぶらうりのふりをして
やってきました。

そのとき、アリババにはモルジアナというかしこいおつきのひとがいました。モルジアナは、とうぞくたちがあぶらをはこんできたたるのなかにかくれていることにきづき、ねっとうをかけてやっつけてしまいました。

それからは、アリババはモルジアナにとってもかんしゃして、たくさんのたからをみんなでわけあいしあわせにくらしました。